

第 74 回(2019 年度)国体関東ブロック大会&茨城本国体 報告

報告者：強化委員長 松藤義昭

1. 関東ブロック大会

【少年男子】 8/23(金) 千葉県総合スポーツセンター

2 年連続、本国体出場を果たせず。来年度に奮起を誓う。

監督談話：令和 1 年度監督 浜倉 裕也

1 回戦敗退となり、残念ながら本戦出場を 2 年連続果たせませんでした。

今年度のオール神奈川少年の部は 1 月の神奈川県新人大会、2 月の都県対抗戦、関東大会神奈川県予選、関東大会等で選手の視察を実施した。関東大会に出場する 5 チームは大会にて視察、他のチームはセレクションマッチを実施。それを基に 45 名を国体登録選手として決定した。

各高校が菅平で合宿を実施している最中、または直後である 8 月 15 日に関東ブロック国体のために選手を 23 名まで絞り、8 月 20～21 日に選手 23 名とスタッフ 7 名で千葉県にて強化合宿を行い、戦術・戦略の確認を主とした練習を実施した。22 日に割り当てホテルへ移動し、最終ミーティングを行った。8 月 23 日に千葉県千葉市で行われる一回戦に臨んだ。

一回戦は栃木県との試合となった。栃木県選抜の多くが國學院栃木高校の選手であり、戦術・戦略の理解度はもちろん、コミュニケーション能力に優れていた。また、関東大会や、全国七人制大会でも調子が良い状態であった。神奈川県は前半、キックでエリアを奪い敵陣でプレーしよう決めていたが、セットプレーのミスやハンドリングミスでボールロストしてしまう局面があった。逆にキック処理のミスでエリアを奪われ、FW 勝負で負けてしまう局面が続いてしまった。後半はボールを動かそうとしたが、前半同様にセットプレーでボールロストし流れをつかめない状態が続いた。最後は焦りもあり、ハンドリングミスや、ジャッジミスが多く苦しい局面が長く続いた。最後の最後にミスから相手ボールとなり、そのまま得点を許し、15-28 という点数でノーサイドを迎えた。

今回の関東ブロック国体では、改めてコンバインドチームをまとめる難しさを痛感した。戦術部分でのコミュニケーションはある程度とれていても、アンストラクチャーでのコミュニケーションや、相手の考えまでは読み取ることができなかったように感じる。セットプレーは、一昨年前の愛媛国体からの課題であったが改善することができなかった。子供たちは慣れないメンバー、サイン、環境下で頑張ってくれていただけないに非常に悔しい結果となった。

来年度は 45 名での練習時間を少しでも多く確保し、細かい連携部分にまで確認ができるようにしたい。そして、鹿児島県で行われる国体に出場したい。

多くのサポートありがとうございました。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

【成年男子】 8/24（土）ちはら台公園多目的広場

3 連勝でBブロック 1 位。3 年ぶり 2 度目の本国体出場！

B ブロック（千葉、神奈川、群馬、栃木）

都道県名	千葉県	神奈川県	群馬県	栃木県	勝ち	負け	順位
千葉県		×0-7	○32-7	○40-10	2	1	2
神奈川県	○7-0		○42-14	○21-7	3	0	1
群馬県	×7-32	×14-32		×7-17	0	3	4
栃木県	×10-40	×17-21	○17-7		1	2	3



初戦の千葉県戦に勝ったのが大きく、波に乗り選手が頑張ってくれました。

【女子】 8/24（土） 千葉県総合スポーツセンター サッカーラグビー場

3 連勝でBブロック 1 位。念願の本国体出場を勝ち取る！

B ブロック（神奈川、東京、栃木、群馬）

都道府県名	神奈川県	東京都	栃木県	群馬県	勝ち	負け	順位
神奈川県		○19-7	○24-0	○31-0	3	0	1
東京都	×7-19		○19-15	○12-7	2	1	2
栃木県	×0-24	×15-19		○36-7	1	2	3
群馬県	×0-31	×7-12	×7-36		0	3	4



初戦から選手が力を発揮し、危なげなく 1 位通過しました。

2. 天皇陛下御即位記念 第74回国民体育大会 (いきいき茨城ゆめ国体 2019)

【成年男子】9/30（月）～10/1（火） ケーズデンキスタジアム水戸

健闘及ばず、予選3位で決勝トーナメント進出ならず。

◆予選プールⅡ プール順位

都道府県名	神奈川県	佐賀県	三重県	北海道	勝敗	勝ち点	順位
神奈川県		×21-35	×0-12	○42-12	1-2	4	3
佐賀県	○35-21		×19-26	○47-14	2-1	7	2
三重県	○12-0	○26-19		○26-0	3-0	9	1
北海道	×12-42	×14-47	×0-26		0-3	3	4



☆成年男子 駒井 GM コメント☆

「平素はチームの活動に際しまして、ご尽力を賜りこの場をおかりしましてお礼申し上げます。今年度はブロック大会を通過しものの、本国体ではチームの目標まではとどかず、残念な結果となってしまいました。次年度は目標達成できるよう、引き続き活動してまいりますので、変わらぬご配慮を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。」

【女子】 10/2（水）～10/3（木） ケーズデンキスタジアム水戸

予選 1 位通過、初出場で 6 位入賞、来年更なる飛躍に期待！！

◆予選プール I プール順位

都道府県名	大阪府	神奈川県	岩手県	勝敗	勝ち点	順位
大阪府		×17-22	○43-0	1-1	4	2
神奈川県	○22-17		○42-0	2-0	6	1
岩手県	×0-43	×0-42		0-2	2	3

◆10/3（木） 決勝トーナメント

○一回戦 神奈川 5 vs 19 北海道

○敗者戦 神奈川 19 vs 14 徳島県

○5 位 6 位決定戦 神奈川 5 v s37 島根県

＊前日の活気あふれるプレーが決勝トーナメントでは発揮できませんでしたが、神奈川県代表は初出場で 6 位入賞、10 月にも関わらず、真夏のような暑さの中、怪我なく無事に戦い抜きました。

☆長谷部コーチ談話☆

少ない練習会日程の中で、更に来られる選手のみ参加だった為に実際に本大会に出場するメンバーでの練習時間が少なかった。その中でもお互いの良さをを知るためのグラウンド外でのコミュニケーションをとり、よく戦ってくれた。練習会では簡単なシステムの確認にほとんどの時間を費やした。女子は 7 人制と 15 人制のシーズンが変動的なため、今年はすでに 15 人制のシーズンに入っていることもありコンディションにも不安があった。それが原因で練習会に集まれずに練習日数にも影響が出た。

練習回数を増やすことでグラウンド内でのコミュニケーションの質の向上やそれに伴い更に良いプレーができると考え、今後の課題にしたい。

この経験を長い競技生活の中で活かせてもらえればと思う。



総合成績も女子チームの活躍で総得点 25 の 13 位の結果でした。

次年度は少年男子にも期待をして、さらに上を目指して頑張ります。ご声援ありがとうございました。

第 74 回(2019)関東ブロック大会スタッフ&メンバー表(少年男子)

スタッフ (派遣職員)

役職	氏名	所属先
強化普及委員長	江澤 英春	横浜修悠館横須賀高校
監督	浜倉 裕也	湘南工科大学附属高校
FW コーチ	石川 悠久	鶴見高校
BK コーチ	後藤 悠太	川崎高校
総務	三上 拓墨	中央農業高校
会計	小松 拓海	七里ガ浜高校
会計	小島 光裕	山手学院高校

	学校名	氏名	学年		学校名	氏名	学年
1	東海大相模	安藤 良太	3	16	桐蔭学園	真利 香之助	3
2	桐蔭学園	平石 颯	3	17	法政二高	宇田川 峻平	3
3	桐蔭学園	岡 広将	3	18	日大	柳澤 怜和	3
4	桐蔭学園	安達 航洋	3	19	東海大相模	池田 智茅	3
5	関東六浦	矢野 裕二郎	3	20	関東六浦	臼井 健人	3
6	桐蔭学園	久松 春陽太	3	21	桐蔭学園	島本 陽太	3
7	桐蔭学園	石塚 勝己	3	22	桐蔭学園	榎本 拓真	2
8	湘南工大附	佐藤 仁哉	3	23	東海大相模	桶川 蔵人	2
9	桐蔭学園	亀井 健人	3				
10	東海大相模	池戸 将太郎	3				
11	桐蔭学園	樋口 豪	3				
12	桐蔭学園	桑田 敬士郎	3				
13	桐蔭学園	西川 賢哉	3				
14	桐蔭学園	飯塚 稜介	3				
15	東海大相模	林 哲平	3				

第 74 回(2019)関東ブロック&茨城国体スタッフ&メンバー表(成年男子)

役職	氏名	勤務先	所属チーム
GM	駒井 隆一	コーワサービス(株)	強化委員会
監督	山口 哲生	三菱重工業(株)	あいおいニッセイ同和損保タフウルズ
総務	二宮 岳史	関東ラグビーフットボール協会	あいおいニッセイ同和損保タフウルズ
トレーナー	境田 淳平	戸塚共立第2病院	昭和大学

1	太田 千博	MHIファシリティサービス(株)	横河アトラクターズ
2	高倉 知希	(株)ミルボード	あいおいニッセイ同和損保タフウルズ
3	茂野 圭輝	富士ゼロックス東京(株)	富士ゼロックスファイアーバード
4	鶴留 竜	東京電力エナジーパートナー	ブルシャークス
5	近藤 直弥	ヒロタダ式整体学院	駒場WMM
6	林 謙太	あいおいニッセイ同和損保	あいおいニッセイ同和損保タフウルズ
7	渡邊 夏燦	三菱重工業(株)	三菱重工ダイナボアーズ
8	相田 一郎	東芝プラントシステム(株)	あいおいニッセイ同和損保タフウルズ
9	鈴木 亮	Big Blues	Big Blues
10	飯田 将之	NPO法人もくせい	サムライセブン
11	駒井 秀多	戸塚共立第2病院	あいおいニッセイ同和損保タフウルズ
12	今井 力也	(株)ファインスタッフ	湘南PB
13	ファエマニ オペティ	(株)新和	クリーンファイターズ山梨
14	菅野 太央	文化シャッター(株)	あいおいニッセイ同和損保タフウルズ

第 74 回(2019)関東ブロック&茨城国体スタッフ&メンバー表(女子)

役職	氏名	所属
団長	松藤 義昭	県協会強化委員長
統括・荷物運搬	金津 文貴	県協会女子委員長
監督	山部 典昭	県協会副会長
HC	長谷部 直子	YOKOHAMA TKM
総務	高橋 千春	YOKOHAMA TKM
トレーナー	井手内 晴	立教大学付属新座高
運転手兼サポート	遠藤 浩	県協会強化委員

No.	選手名	所属先
1	牛嶋 菜々子	関東学院六浦高
2	篠原 憩	関東学院六浦高
3	鈴木 育美	YOKOHAMA TKM
4	古屋 みず希	日体大
5	濱辺 梨帆	YOKOHAMA TKM
6	高木 萌結	青山学院大（横河武蔵野アルテミ・スターズ）
7	新原 響	YOKOHAMA TKM
8	武藤 さくら	湘南ベルマーレ
9	小島 碧優	日体大
10	青柳 双葉	YOKOHAMA TKM
11	渡辺 莉紗	YOKOHAMA TKM